

第17回全国社会人9人制東ブロック男女優勝大会

全国社会人9人制東ブロック優勝大会2年連続準優勝!

【佐久総合病院女子バレー部監督 由井 章】

2018年11月9日(金)～11日(日)、富山県富山市にて全国社会人東ブロック大会がありました。

数年前まで実業団登録して活動していましたが、現在はクラブ的な活動に移行しております。昨年も同大会で準優勝という結果を残せましたが、くじ運の良さもありました。今年度は出産・子育てから復帰してくれた選手もおり、実力で何とか勝ち上がりたいという強い思いがありました。

練習不足ではありましたが、試合をこなすにつれてチームとして機能し、危なげなく決勝まで勝ち進みました。相手は、昨年度決勝戦で完敗した岐阜県代表FINAL-Kでした。

9人制トップリーグ・イビデンに所属していた選手達もおり、素晴らしいチームではありましたが、昨年度のリベンジを果たすべく強い思いで一戦に臨みました。

1セット目は作戦が見事にはまって21-13で先取し、2セット目は目の前に優勝がちらつき始めた途端、選手達に硬さがみられるようになり、接戦を落としてしまいました。最終セットはママさん選手達の体力の限界を超え、力尽きてしまいました。今でも悔しい思いがありますが、この気持ちが来年度の活動のモチベーションに繋がってくれば、今回の準優勝も大きな意味を持つてくれると思っております。

これからも活動の意義を見つけながら、バレーボールを楽しめる環境を守っていきたいと思います。多くの支えに感謝して、大会報告とさせていただきます。

春の高校バレー 第71回全日本高等学校選手権大会長野県代表決定戦

男子は松本国際が6連覇

女子は東京都市大塩尻が3年ぶり6回目の優勝

【長水協会理事長 竹内 護】

11月24日(土)・25日(日)に長野市ホワイトリングにて、10月の1次ラウンドを勝ち抜いた男女ベスト8、計16チームが集結。春の高校バレーへの出場権をかけた熱戦が繰り広げられました。

男子は、松本国際高校(以下「国際」)が創造学園高校時代から継続中の連覇を6回に伸ばすか注目される中、順当に決勝戦まで勝ち上がりました。



対して第2シードの岡谷工業高校（以下「岡工」）は、準決勝で長野日大高校（以下「日大」）のファイト溢れるプレーに大苦戦。粘る日大を2-1でかろうじて振り切った決勝進出となりました。

決勝戦でも、なかなか連続得点のできない岡工に対して、アタック決定率53%、ブロックポイントのセット平均3.67本の国際は、各セットともに中盤以降でペースをつかむことに成功して、リードを広げていきます。

タイムアウトやメンバーチェンジで必死に流れを変えようとする岡工でしたが、勢いを止めることができないまま3-0で勝敗が決し、国際の6連覇達成となりました。

女子の決勝戦は、どのセットも一進一退の攻防が展開され、白熱したゲームとなりました。

東京都市大塩尻高校（以下「都市大」）はサーブミス15本が示すように、ミスから崩れる展開に苦しみながらも、ライト攻撃を軸にコンビネーションバレーを展開して、徐々にリズムを作り出します。

対する東海大学付属諏訪高校（以下「東海」）も、都市大のコンビネーションを10本のシャットアウトで封じ込め、堅い守備力から攻め返して、第1・第4セットを奪い、ファイナルセットに突入しました。

第5セットは、出だして堅さが見られた東海に対し、都市大はミドルアタッカーが得点を重ねていくとサイドアタッカーも調子を上げ、一気に9-2までリードする展開に。中盤以降巻き返し11点まで迫ったものの、最後は都市大レフトからの強打に沈みました。



代表となった両チームの選手権大会（春の高校バレー）での大活躍を期待したいと存じます。



VC長野トライデンツ 2回目のホームゲームは勝利を掴めず

【県競技副委員長 吉川 豊】

11月24日(土)、松本市総合体育館でVC長野トライデンツ(以下「VC長野」)にとっては今シーズン2回目となるホームゲームが行われました。

第1試合の豊田合成 vs 東レ戦では、豊田合成の傳田亮太選手(長野市立芋井中一創造学園(現 松本国際)高校出身)がMVPを獲得し、「長野」ムードが一層高まってきた中での第2試合、VC長野はジェイテクトSTINGS(以下「ジェイテクト」)と対戦しました。

尚、ジェイテクトには、キャプテンの浅野博亮(安曇野市立三郷中一長野日大高校出身)を始め、渡邊 峻(須坂市立常盤中一創造学園高校出身)、柳澤広平(松本市立高綱中一創造学園高校出身)の長野県出身3選手が所属。VC長野に次いで長野県出身者が多いチームです。その両チームの対戦ということもあって、観戦者は2千人を超えました。

試合開始1時間前にはライトダウンされた体育館へVC長野の選手達が入場。ファンイベント、笹川監督・栗木キャプテン・各選手のインタビュー、サインボールの投げ込み、そして公式練習を経て、この日、29歳の誕生日を迎える小林選手からコートインし、試合が始まりました。

第1セット序盤、VC長野はサーブで崩されて5連続失点。中盤迄粘って13-13の競り合いに持ち込みましたが、終盤はジェイテクトのミドルからの攻撃を止め切れず、21点でこのセットを失いました。

第2セットも相手ペースで試合が進み、VC長野も20点迄は食らい付いたものの、キャプテン：浅野選手を投入したジェイテクトに同じく21点で振り切られました。

VC長野が意地を見せたのは第3セット。粘り強いブロックとレシーブで中盤過ぎ迄リード。19-21と逆転された後も、サービスエース等で22-23と追い上げましたが、最後はジェイテクトの浅野選手に高い打点からのストレートスパイクを決められてゲームセットとなりました。

翌25日(日)、VC長野は同会場で豊田合成トレフェルサ(以下「豊田合成」)と対戦しました。

VC長野は、キャプテン：栗木(松川町立松川中一創造学園高校出身)や松村(中川村立中川中一岡谷工業高校出身)の両レフトアタッカーがタッチアウトを利用しながら得点を重ねましたが、豊田合成の傳田を中心とする高いブロックに苦戦を強いられ、オポジットのイゴール等にも要所でスパイクを決められて第1・第2セットを連取されました。しかし、劣勢の中で気を吐いたのが、一度は引退を考えたものの、再びチームに戻った小林(長野日大高校出身)。第3セットにはチームの得点の半分を叩き出しました。又、途中交代の高澤(小布施町立小布施中一長野日大高校出身)のレシーブから流れを掴む場面も見られました。最終的には3セット共20点も取れずに敗戦となってしまいましたが、前日の戦い振りも含めて、チーム一丸となって向かって行く姿勢、ファイティングスピリッツが前面に出た試合でした。

10月下旬にスタートしたV1リーグは、この日の試合で全チームとの対戦が一巡しました。VC長野は初参戦の今シーズン、共に旧2部から昇格した大分三好に開幕戦で1勝ただけで、特に旧プレミアリーグ勢には1勝どころか1セットも奪えていない訳ですが、笹川監督やアーマツコーチの「全てが良い経験」という言葉に代表されるように、敗戦を前向きに捉えて前進して行って欲しいと思います。

第10回北信越実業団9人制バレーボール男女選手権大会

女子はエプソンが4年振り6回目の優勝！男子の松本市役所は8連覇を逸す

【県実業団連盟理事長 村上里志】



第10回北信越実業団9人制バレーボール男女選手権大会が10月26日（土）・27日（日）、福井県営体育館を会場に男子10チーム・女子5チームが参加して開催されました。

県勢は、男子が松本市役所・日信工業/VNB J・オルガン針、女子はセイコーエプソンと松本市役所が出場しました。

7連覇中の男子：松本市役所は、レギュラー数名を欠く状況、初日のグループ戦は安定した戦い方で決勝リーグに駒を進めましたが、決勝リーグでは、近年実業団上位チームを招聘して練習ゲームを重ねる等の強化を図っているパ

ナソニックエコソリューションズ新潟に力負けを喫し、残念ながら8連覇を逃すことになりました。

一方、例年OG主体で参加していた女子のエプソンは、久方振りに現役選手で9人制バレーに臨み、4年振り6回目の優勝を飾りました。エプソンは、初戦こそ連続してオーバーネットの反則を犯す等、9人制に戸惑う場面も見られましたが、事実上の決勝戦となった大会3連覇中の金沢F戦では、レシーブ陣が安定した守りからリズムをつくり、センター：仲村優希奈やライト：藤原のぞみの強打等で危なげなく前回覇者を退けました。最優秀選手には、ハーフセンターで終始粘り強い守りをみせた邑上佳菜子選手が選出されました。

尚、本大会は今回で10回を迎えましたが、レセプションの場において本大会創設以来10回連続出場を果たした男子：オルガン針・日信工業/VNB J、女子：セイコーエプソンに対して、北信越実業団バレーボール連盟より感謝状が授与されました。

<エプソン主将：中澤紫苑コメント>

9人制バレーの練習や試合を通して色々と学ぶことができました。また、9人制バレーの面白さも感じ取ることができましたし、バレーボールを違った角度から見ることができるとても新鮮でした。この経験を6人制バレーに活かして行きたいと思います。

第20回全国ソフトバレー・レディースフェスティバル

長野県代表のチームLOOKが見事3連覇を果たす！

【県ソフト連盟理事長 中山芳一】



チーム LOOK

10月26日（金）～28日（日）の3日間、全国ソフトバレー・レディースフェスティバルが滋賀県草津市において開催されました。

長野県からは、6月の予選会で優勝したLOOKチームが出場致しました。予選では、福島県のSPANKYチーム、滋賀県の紅クラブ、東京都のCeLLチームをそれぞれ2-0で下し、3勝全勝でグループ1位になって決勝リーグへと進みました。

1位グループの決勝リーグでは、1試合目の兵庫県太陽クラブ飛龍心チームを2-0、2試合目も栃木県のSMAKチームを2-0とそれぞれストレートで破り、1位グループの中の1位となって、見事に3連覇を果たしました。

平成 30 年度ソフトバレー北信越ブロックファミリー&キッズ 一般フェスティバル in 長野大会が開催されました

【県ソフト連盟理事長 中山芳一】

10月28日（日）に北信越ファミリー&キッズ一般フェスティバル長野大会が伊那市民体育館で開催されました。

この北信越ファミリー&キッズ一般フェスティバルは、ファミリーの部・キッズ（小学生4年生）以下の部・ゴールドの部（60歳以上）・プラチナの部（70歳以上）の4種別での開催になりました。

4種別の中で、長野県から参加したチームとしては、ファミリーの部で楽笑・大町ファミリー・こま

ちゃんZが1位グループに上がりました。キッズの部では、SNOW K I Z Z・上田六文銭ヒーローズも同じ1位グループに上がりました。また、ゴールドの部に出場したリバーティーズは、予選第1試合で新潟県の越後長岡杵柄会チームを2-0で、2試合目では福井県のFree Wi 11チームを2-0のストレートで下し、決勝トーナメントに進出。トーナメント第1試合は、県内チームの島内クラブと当たって2-0で破り、決勝戦では同じく県内の伊那ドリームと当たり、これにも2-0で勝利して1位グループの1位になりました。



チーム リバーティーズ

第66回秋季北信越大学男女バレーボール選手権大会

長野大学は一步前進するも全日本インカシの切符には手が届かず

【長野大学女子バレーボール部主将 平原果歩】

10月27日・28日、11月3日・4日の2週に亘る土日で第66回秋季北信越大学バレーボール選手権大会が行われました。11月3日・4日の決勝トーナメントでは、ベスト4に新潟医療福祉大学・金城大学・富山大学・長野大学が残り、熱い闘いを繰り広げました。

決勝戦、3位決定戦共にフルセットとなり、どのチームも最後まであきらめない姿や笑顔でプレーする姿が印象的でした。結果は、優勝：新潟医療福祉大学、準優勝：金城大学、3位：長野大学、4位：富

山大学となりました。長野大学は、優勝を目標に練習に励んできましたが、悔しい結果となりました。しかし、春季に行われた北信越リーグで富山大学に負け4位で終わってしまったため、今大会で3位を取り戻すことができ良かったです。全日本インカシの切符は上位2チームに与えられます。これで4年は引退となります。下級生に思いを引きついでもらい、来年こそ全国出場できるよう頑張りたいと思います。

会場まで足を運んでいただき応援して下さいました。皆様、本当にありがとうございました。



平成 30 年度 第 7 回 長野県 13 地区対抗 6 人制選手権大会 一般・高校の部
ミスノ杯 第 18 回 6 人制長野県クラブバレーボール選手権大会

男子は大町スポーツクラブが 女子は Lien が共に初優勝を飾る

【大北協会理事長 芳澤光一】

平成 30 年度第 7 回長野県 13 地区対抗 6 人制選手権大会～一般・高校の部、ミスノ杯第 18 回 6 人制長野県クラブバレーボール選手権大会が 11 月 18 日（日）、大町市運動公園総合体育館・大町市立仁科台中学校体育館に於いて開催されました。

男子は 7 協会から 11 チームが出場し、決勝は大北協会代表で全国ヤングクラブアンダー 19 の大会で優勝した高校生チームの大町スポーツクラブと、長水協会代表の N-tech の対戦になりました。どちらも予選で強豪チームに勝利し、1 セット目から力



の勝負で一進一退の攻防が続きました。両チーム共、エースの力強さと巧みなブロックで点を重ねましたが、最後は若さで大町スポーツクラブが接戦をものにしました。2 セット目は、怪我人が出たこともあって N-tech にとっては厳しい戦いになりました。結局、全国をチームワークの良さで勝ち取った大町スポーツクラブが、全員の活躍で初めての優勝を果たしました。

一方の女子は、6 協会から 7 チームが出場し、決勝は長水協会代表の Lien と上伊那協会代表の上伊那選抜の対戦になりました。前年度優勝の長野スピリッツ松本（安曇野・東筑）を破った Lien がセッターから繰り出される多彩な攻撃で、全員攻撃の上伊那選抜を接戦の末に破り、こちらも初めての優勝を飾りました。



第 36 回さわやか信州 CUP 長野県小学生バレーボール大会 選抜優勝大会

男子：岡谷 Jr 女子：阿智クラブが優勝 新設の混合は日滝 V C が優勝

【県小学生連盟理事長 西澤悦郎】

第 36 回さわやか信州 CUP 長野県小学生バレーボール大会 選抜優勝大会が 11 月 4 日（日）、軽井沢風越公園総合体育館をメイン会場に開催されました。

男子・女子は共に、夏の全国大会に出場した岡谷 Jr、阿智クラブが優勝し、今回新たに創設された男女混合の部は、日滝 V C が初代チャンピオンに輝きました。

以下、優勝した各チーム代表者のコメントです。



【岡谷Jr. コーチ 小林竜也】

数ある大会を経て、このさわやか信州CUPでは6年生最後の公式戦となりましたが、見事優勝を勝ち取ることが出来ました。岡谷Jr. 史上初の県内主要大会全て優勝という快挙まで成し遂げてくれました。

決勝戦は一進一退の試合展開でしたが、子供達は誰一人下を向くこと無く、苦しい状況の中でも笑顔でプレーしている姿は、たくましく誇らしく思えました。また、保護者、仲間達の応援の一体感も子供達の大きな力となっていたと確信しています。

6年生は、岡谷Jr. で学んだ技術はもちろん、仲間の大切さなどさまざまな大切なことを忘れることなく、今後の人生に生かし、笑顔で楽しくやっていって欲しいと思います。

最後に、スポンサー様、運営、準備をして下さった皆様、本当にありがとうございました。

【阿智クラブ コーチ 小野 知】

11月4日（日）、軽井沢で行われました大会で初優勝することができました。

このさわやか信州CUPは6年生最後の大会になりますが、阿智クラブには6年生が7人おり、それぞれが夏の全国大会を経験し、その反省の下にこの大会まで練習を積んできた結果だと思っております。

指導者（監督・コーチ）は選手に「アドバイス」をし、そのアドバイスを選手一人ひとりが考え、仲間とコートの中でも外でも話し合い、今までできなかった事が出来るようになっていく姿を見て、子供達自身で成長してきたのだと実感しています。

また、このチームがスタートして長野米カップ、全日本小学生大会、さわやか信州CUPと、3大会とも決勝では小布施スポーツ少年団との顔合わせになりました。過去から見ても、普段から試合をする機会のない小布施スポーツ少年団との対戦により、交流も深まりました。これも選手子供達のおかげだと思っております。この素晴らしい経験を活かし中学校でも活躍してほしいと思います。

最後にスポンサー様、長野県小連の役員の皆様、開催地の佐久支部の皆様、関係者の皆様には、大会準備から当日の運営まで大変ありがとうございました。大会が子供達にとって最高の大会であったことは多くの皆様の協力があったことです。本当にありがとうございました。

各チーム新チームでの活動が始まっておりますので、今後ともよろしくお祈りします。



【日滝V C 監督 西澤悦郎】

今回、新たに男女混合の部が創設されたことによって参加でき、6年生最後の公式戦を有終の美で飾れたことを大変うれしく思います。

3チームによるリーグ戦で、初戦は夏の大会で敗れた、わくわくエース南箕輪と対戦。サーブが良くセットカウント2-0で夏の雪辱を果たしました。次は茅野クラブと対戦。接戦を制し、これもセットカウント2-0で勝利し、混合の部の初代チャンピオンに輝きました。

年度当初5人しかいないチームでしたが、女子の協力もあり、混合チームとして試合に出ることができるようになりました。選手たちも目標を持ち、一生懸命頑張った結果と思います。

最後に混合の部を創設して下さった関係者の皆様にお礼申し上げます。



長野☆GaRons ホームタウンの須坂市長を表敬訪問

【長野☆GaRons GM(兼任監督) 篠崎 寛】

11月5日(月) ホームタウンである須坂市役所へ表敬訪問に伺いました。御同行頂きました(一財)長野県バレーボール協会の船木会長、夏目副会長、渡辺常務理事、そして須高バレーボール協会の松本会長、ご多忙中の中ありがとうございました。

長野☆GaRons(以下「ガロンズ」)からはスタッフ1名、選手6名で訪問させて頂き、リーグに対する決意表明をさせて頂きました。

私からは、「今シーズンから Division 2へ昇格しましたが、同リーグの他チームは全て格上。怪我人などはいない

がリーグ前までチームの状態は本当に悪く、負けが続きました。中には結果が伴わないことでチームを離れる選手もいました。今いる選手は、辛い時期を真剣に考え本気で取り組んできた選手ばかり。平日地元クラブチームの皆さんに御協力頂き、練習試合を数多くこなす一方、週末は遠征を重ね、天皇杯ブロック予選以降は3週間で50セットをこなしました。そのおかげで、今のチーム状態はベストに仕上がっており、更に強力になる施策も既に準備しています。ホームゲームでは何としてでも勝ちたい。」と報告致しました。

選手代表の藤井副キャプテンからは、「厳しい戦いになることは間違いないが、自分達に出来る最高のプレーをし、応援して下さる方々に少しでも良かったと思ってもらえるように頑張ります。」と述べました

須坂市三木市長をはじめ、多くの方々に激励の言葉を頂き、最後は応援旗に「闘志」という立派な言葉を書いて頂きました。

Division 2は11月10日(土)、土浦市にて開幕戦が開催されます。ガロンズのホームゲームも12月8日(土)~9日(日)に須坂市市民体育館で開催されます。

是非、会場までお越し頂き、ご観戦下さい!

私達 ルートインホテルズ ブリリアントアリーズは Vリーグに参戦します

『長野県女子バレーボールチーム初のVリーグ昇格、参戦に向けて』

■監督 川口 廣

私たち「ルートインホテルズ ブリリアントアリーズ」は来年度より V リーグに参戦することが決定致しました。

上田市行政、長野県・上田市バレーボール協会、実業団連盟、バレー関係者等数多くの方々のご指導、ご協力にも大変感謝致しております。

まだまだ通過点であり、スタート地点に立ったばかりです。私達は長野県の、そしてルートイングループ発祥の地・上田市のチームとしての誇りを持ち、目標を高く掲げ『バレーボールを通して地域社会に貢献し、皆様に必要とされる、愛されるチーム作り』を目指していきます。

今後とも皆様方からのご指導、ご支援、ご協力、ご理解の程よろしくお願い致します。

■主将兼コーチ 西堀育実

昨年に創部してから2年目という早さでVリーグ昇格となりましたのも、長野県上田市が発祥の地となるルートインホテルズのスポーツチームへのご理解とバックアップがあつてこそだと感じています。バレーボールが出来ることへの感謝を忘れずに邁進していきたいと思っております。また創部当初から県内のバレー協会、小中学校・高校・大学、社会人チーム等のバレー関係者の皆様には多方面でご協力を頂きました。特に私達バレー部が創部する前から長年に亘って県のバレーを盛り上げ、支えて下さっていたセイコーエプソンさんや長野大学さんには、練習試合や私達チームとの親善試合などにも快くご協力頂き、暖かく見守って下さいますことに感謝申し上げます。長野県女子バレーボールチーム初のVリーグチーム、長野県のVリーガーとして自覚を持ち、“このチームならVリーグに相応しい”と言って応援して頂けるような戦いをお見せ出来るよう準備して臨みます。

長野県をバレーボールで盛り上げていけるように、上田地域の皆様、長野県の皆様に応援して頂けるように『感動と夢、そして元気を届ける』をモットーにブリリアントアリーズらしく頑張っていきます！

今後とも応援宜しくお願い致します！



JOCジュニアオリンピックカップ 第32回全国都道府県対抗中学バレーボール大会

中学選抜チームの平成30年度北信越強化練習会が開催される

【県強化委員 木下久資】

12月25日（火）から大阪市で開催される全国都道府県対抗中学バレーボール大会に向けての、北信越バレーボール連盟主催による北信越強化練習会が、11月10日（土）・11日（日）に新潟県上越市で開催されました。

男子は2日間共、上越市の牧体育館を会場に1日目は1セット回しのリーグ戦、2日目は2セットマッチのリーグ戦を行いました。結果は、16セット中、得セット8・失セット8でした。ここまで大きな怪我もなくチーム作りを進めて来ることが出来ています。一つ一つ課題を把握し、少しずつではありますが、解決しながら取り組んで来たことは、成果として現れていたと思われれます。今後は、コンビバレーの更なる精度アップと共に、メンタル面での課題を如何に克服して行けるかが鍵です。



一方の女子も2日間共、上越市の三和中学校体育館で同様にリーグ戦を行いました。こちらの方は、16セット中、得セット6・失セット10で、北信越5県の中では3位の成績でした。特にサーブミスから、自分達で作った流れを切ってしまう場面が目立ち、そこで連続失点をして多くのセットを失う結果となってしまいました。しかし、コンビバレーも少しずつ完成して来ている、良いテンポでのバレーが出来ている時間帯も増えて来ました。このコンビバレーを更に磨くと共に、男子と同様、メンタル面での向上をどれだけ図って

行けるかが大きな課題になりそうです。

9月から始まったチーム作りも終盤を迎え、今まで培ってきた成果を確実にすると同時に、課題を少しでも消化して本大会に向かえるようにして欲しいと思います。

尚、本大会の予選グループ戦の組み合わせ抽選が、11月23日(金)の午後2時から読売新聞大阪本社で行われ、男子は全16組中15組で熊本県・福島県と同じ組になりました(試合会場は丸善インテックアリーナ〔大阪中央体育館〕)。一方女子は、2組で沖縄県・三重県と対戦することになりました(試合会場はエディオンアリーナ大阪〔大阪府立体育会館〕)。男女共、予選は12月26日(水)に行われ、3チーム中上位2チームが決勝トーナメントに進出することになります。



昨年、男子は初めての予選グループ戦落ちを経験。女子もトーナメント1回戦で苦杯を喫する等、男女共今一步の成績だった訳ですが、今年は両チーム揃っての上位進出を期待したいと存じます。本番迄残り1ヶ月弱、皆様方の御支援・御声援を宜しくお願い致します。

県体協ヒヤリング ～ 長野国体迄の課題と取り組み 来年度の目標を回答

【県強化副委員長 村上里志】

11月15日(木)、(公財)長野県体育協会による国体強化事業ヒヤリングが県スポーツ会館で開催され、当協会から竹淵専務理事、三溝強化委員長、村上・鏡味両副委員長の4名が出席しました。

冒頭、本年度天皇杯47.5点を獲得した第73回福井国体における成績を含め、2027長野国体までの中長期にわたる「組織」「選手育成」「指導者養成」「環境整備」の各課題と取り組み等について報告しました。

県体協からは、ビーチを含むジュニア層の強化策について幾つかの質問がありましたが、小学生指導者を強化スタッフに加える等、引き続き小中高校指導者と更に連携を強め、中長期視点で抜本的対策を打っていく旨を回答、併せてビーチコート増設について要望しました。

最後に、来年度全種別の本国体出場と第74回茨城国体において天皇杯35点以上獲得を目標とすることを宣言してヒヤリングを終了しました。



平成 30 年度中間収支会計監査終了

【県総務委員長 内山政則】

平成 30 年度中間収支会計監査が、11 月 21 日（水）午後 2 時から事務局にて実施されました。

竹淵専務の立ち合いの下、総務委員長の内山から 4 月～9 月までの中間収支会計報告の概要を説明した後、林・鈴木両監事に金銭出納帳・元帳・領収書綴り・各種大会決算書等の監査を受けました。初の監査出席となった堀内主事も緊張の面持ちで臨みました。

問題点についての指摘はありませんでしたが、監査書類の整理について提案を頂きました。

また大会決算報告提出書類への押印については、13 地区協会の皆様のご努力と県協会事務局からの呼びかけでサインが少なくなって大分整って来ておりますが、更なる徹底をお願い致します。



監査終了後、MRS 登録の収入についても言及されました。新方式となったため、手続きが遅れていることについて、通知等で呼びかける等の努力をする旨のご指導を頂きました。

協会員の皆様におかれましては、特に個人登録は県協会できとめて JVA に登録する関係で、ID 番号を事務局へ大至急報告頂きますようご協力をお願いしたいと存じます。

11 月 試 合 結 果

☆ 第 66 回秋季北信越大学男女選手権大会

http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2018siaikeka/H30.10.26-11.4hokusinetu_daigaku.pdf

☆ さわやか信州カップ第 36 回長野県小学生選抜優勝大会

http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2018siaikeka/H30.10.14sawayaka_ken.pdf

☆ 第 17 回全国社会人 9 人制東ブロック男女優勝大会

http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2018siaikeka/H30.11.9_9shakai_east_block.pdf

☆ 第 7 回長野県 13 地区対抗 6 人制選手権大会（一般・高校の部）

☆ ミズノ杯第 18 回 6 人制長野県クラブ選手権大会

http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2018siaikeka/H30.11.18_13tiku_ipan_koko.pdf

☆ 第 71 回全日本高等学校選手権大会長野県代表決定戦

http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2018siaikeka/H30.11.25haruko_daihyo.pdf

12月スケジュール

11/29(木)～12/2(日)	第88回全日本9人制総合男子選手権大会 第87回全日本9人制総合女子選手権大会	(大阪府)
11/30(金)～12/2(日)	第7回全国ソフトバレースポレクフェスティバル	(三重県)
12/1(土)	2018-19 V.LEAGUE Division2 WOMEN	(軽井沢町)
12/1(土)	長野県スポーツ指導者研修会(中南信コース)	(松本市)
12/1(土)～2(日)	第23回あすなろ地域交流大会	(大町市)
〃	北信越バレーボール連盟審判委員長会議	(富山県)
12/7(金)～10(月)	第8回全国ママさんバレーボール冬季大会	(福島県)
12/8(土)～9(日)	北信越バレーボール連盟各県正副理事長(専務理事)会議	(福井県)
〃	2018-19 V.LEAGUE Division2 MEN・WOMEN	(須坂市 ・軽井沢町)
12/14(金)	競技力向上専門委員会正副委員長会議	(長野市)
〃	理事長・競技力向上専門委員合同会議(国体種目)	(長野市)
12/14(金)～16(日) 12/22(土)～23(日)	天皇杯・皇后杯全日本選手権大会ファイナルラウンド	(東京都)
12/22(土)	JOC第32全国都道府県対抗中学長野県選抜チーム壮行会	(松本市)
12/25(火)～28(金)	JOC第32全国都道府県対抗中学バレーボール大会	(大阪府)